

食事について

▼食事提供について

乳幼児期の食事は、何を食べるかよりも「美味しい」「嬉しい」「楽しい」を感じ、食べる喜びを味わってほしいと考えています。その為に、マナ保育園では、時間を決めた一斉の食事提供ではなく、一人ひとりが空腹を感じた時にランチルームに入って、食事を摂るようにしています。

▼給食、おやつ

前月末に、翌月の献立表を、園だよりと共に園HPに掲載します。なお、幼児クラス(3-5歳)は1カ月主食費2,000円、副食費4,500円をいただき、主食を含めた給食とおやつを、園から提供しています。

▼アレルギー等への対応

使用する食材の中でアレルギー等により食べられないものがありましたら、事前にご相談ください。対応食を用意します。

▼夕食、おやつ

18:30以降の延長保育のお子さんには、希望者対象におやつを出します(1回100円)。また、園ではご家族で食事をともにすることを大切にしたいと考えていますが、19:00以降の延長保育のお子さんと、必要な場合は、夕食(補食程度)の提供が可能です(1回200円)。



健康管理と健康診断

年に2回、嘱託医による健康診断を行います。

▼嘱託医(園医)

医科：安崎 弘晃(小谷医院)
歯科：新井 徹(あらい歯科医院)

*結果は後日、保護者の方にお知らせします。

*身体測定は、毎月行い、結果を保護者の方に、お知らせしています。

《YMCA 教育・保育事業の理念》

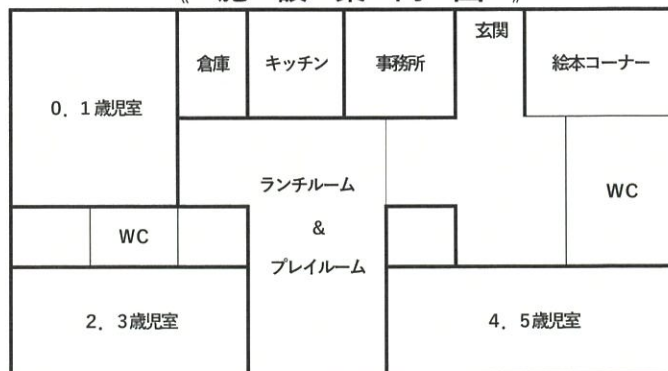
イエス・キリストの愛と奉仕の精神に
基づき、一人ひとりのいのちが輝く
平和な社会の実現を目指します

YMCA が大切に考える4つの価値

本園の母体である横浜 YMCA では、「YMCA キャラクター・デベロップメント・キャンペーン」を展開しています。人格形成に必要とされる価値は様々ですが、その中でも YMCA は4つの価値、

Caring (思いやり) Honesty (誠実さ) Responsibility (責任感) Respect (尊敬心) に注目しています。この4つの価値は目新しいものではありませんが、今だからこそ、私たち YMCA はこの4つの価値を意識し、プログラムの中に取り入れ、子どもたちに伝えたいと願っています。

《施設案内図》



社会福祉法人横浜 YMCA 福祉会

YMCA マナ保育園



所在地 〒236-0058 横浜市中区金沢区能見台東1-1
ビーコンヒル能見台イーストプラザ内

電話 045-790-3588

FAX 045-790-3599

施設長 迫 弓子

開園 1999年12月1日

「YMCA能見台チャイルド・ケア・センター・マナ」として開園

2001年4月1日より 認可保育園 YMCA マナ保育園として運営

設置者 社会福祉法人横浜 YMCA 福祉会
理事長 佐竹 博

設置者所在地 横浜市中区常盤町1-7

《目に見えないものを大切にすることキリスト教保育》

「だいすきな神様、新しい朝をありがとうございます」
YMCA マナ保育園の朝は、子ども達のお祈りから始まります。
幼児は週1回の礼拝で聖書のお話を聞き、乳児も誕生会や月の行事には礼拝に参加します。人への思いやりや優しい心など、目には見えないけれど、大切なもの(神様の愛)があることを、祈り(礼拝)を通じて大人も子どもも心にとめ、過ごしています。

《私たちは、子どもの主体性を大切にします》

そのために、私達は1人ひとりが興味を示した遊びの領域の中で、話しかけたり聞いたりしながら、学ぶ動機を与えています。
その中で子ども達自身が「何か好きなのか」「どうすることが最良の方法なのか」「どうすることが価値のあることなのか」「自分には今、何ができるのか」「自分は今、何をすべきなのか」を見つけ出していくことが大切だと考えます。

私たちは、子ども達自身がその感覚を用いて学ぶことができるように「見たり・聞いたり・触ったり・匂いをかいだり・味わったり」する機会を多く提供します。

学ぶことは前進の過程であり相互的なものです。子ども達は保育者や仲間から学び、保育者も子ども達から学びます。

園での共通の体験を通じて、大人も子どもも「共に育ちあうこと(共育きょういく)」が、私たちの願いです。

《YMCA マナ保育園では》

YMCA マナ保育園の保育は、子ども一人ひとりの発達や興味、その瞬間の気持ちに寄り添い、成長を大切に見守り育てるために、クラスや年齢(月齢)という枠組みに囚われることなく、発達に沿った少人数での「グループ活動」や、その日の主活動を子ども自身が自ら選ぶ「選択活動」を中心とした保育を行っています。

また、食事・睡眠・遊びなどの生活リズムも、各家庭の生活時間や個々の成長発達・体力・集中力によって1人ひとりが異なるため「皆さんと一緒に(一斉活動)」という声掛けではなく生活時間に幅をもたせ、各自が自分のペースで食事・睡眠・遊びに取り組めるようにしています。

合わせて、保育室もクラスルーム(年齢別)で分けるのではなく「プレイルーム(居間)」「ランチルーム(食堂)」「午睡室(寝室)」の3つの生活空間に分けて、それぞれがそれぞれの時間を大切に過ごせるようにしています。

子ども達は、この保育園の中で、大人の指示を受けて行動(他律性)するのではなく、生活の仕方や遊び方、活動内容などを自分で感じ、考え、自分で選び取って行動しています。
この行動こそが「自律(主体性)」であると私たちは考えています。

園名「マナ」の由来

マナは旧約聖書にてでくる「奇跡の食べ物」と呼ばれる食物の名前です。紀元前1200年頃、モーセに率いられてエジプトを脱出したイスラエル人が、40年の間、シナイの荒野をさまよいつづけた時、この「マナ」を食べて命を繋いだと伝えられています。「マナ」はヘブル語で「天からの賜物」「神の賜物」を意味します。

私たちは、ご家族からお預かりしたお子さんたちを「神の賜物」として大切に育てていきたいと願い、園名といたしました。

▼開園時間 ・月曜日～金曜日 7:00～20:00
・土曜日 7:00～18:00

*なお、入園当初の約1週間は短縮保育(慣らし保育)を実施しますのでご了承ください。

▼延長保育 7:00～7:30(月～土)、18:30～20:00(月～金)
別途延長保育料が必要です。

▼休 園 日 日曜日、祝祭日および振替休日、
年末年始(12月29日から1月3日)

▼定 員 60名(0～1歳児20名、2～5歳児40名)

▼保育従事者等の配置

*本園は、次のような職員を配置しています。

園長1、主任保育士1、保育士(常勤15、非常勤3)
保育助手(非常勤2)、栄養士3、調理員1事務職員1、
嘱託医2(内科1、歯科1)

*開所時間内は、横浜市の配置基準に則って、必ず複数の職員を児童数に応じて配置しています。

▼要望の解決について

*解決のための第三者委員、および横浜YMCA福祉サービス利用者相談センターを設置しております。

▼職員研修

*横浜市、横浜YMCA、日本キリスト教保育所同盟、横浜市社会福祉協議会等が行う研修会や、国内研修に積極的に参加し、保育の質の向上を行っています。

《YMCAならではのプログラム体験》

YMCA では、「遊び」は子どもにとって「学びの場」であり「育ちの場」であると考え大切にしています。

幼児になるとYMCAのインストラクターによる「体操遊び」や「英語遊び」「プール遊び」を、年間を通して行っています。
また、4歳児は保育園でお泊り保育を、5歳児は夏と冬に富士山の麓にある「富士山YMCAグローバル・エコ・ビレッジ」で2泊3日のキャンプをします。

行 事

本園では、子どもたちに多くのことを経験して欲しいと願って、以下のような行事を実施しています。
(*は、要別途費用)

▼主な行事

- 〔 4月〕 イースター礼拝、入園式、保護者懇談会
- 〔 5月〕 内科健診、個人面談
- 〔 6月〕 歯科検診、花の日礼拝、引取り訓練
- 〔 7月〕 5歳児夏キャンプ*
4歳児お泊まり会*
- 〔 9月〕 OB&ファミリー
キャンプ*
マナまつり
- 〔11月〕 収穫感謝祭
マナPLAY DAY(運動会)
- 〔12月〕 クリスマス礼拝
- 〔 2月〕 個人面談、5歳児冬キャンプ*
- 〔 3月〕 卒園式



▼毎月の行事

お誕生会、避難訓練、お弁当の日等

ご家庭との連絡

▼連絡アプリ

お子さんの健やかな成長を願って、園と家庭との細やかな連絡の手段として使用します。お子さんの家庭での様子、園での様子を、専用アプリを使ってやり取りいたします。

▼園だより・給食献立

園だよりは月に1回、連絡アプリやHPより閲覧いただけます。
各月の行事や連絡事項、クラスの様子等をお知らせします。

▼保護者懇談会

保護者の方を対象に懇談会を開催します。
園から行事や確認事項等についてのお知らせや、クラス毎に保護者同士で懇談する時をもちます。